

赤堀中学校 学校だより

赤 心(せきしん)

~ 豊かな感性 確かな知性 あふれる意欲 ~

2024.9.11

令和6年度 全国学力·学習状況調查 結果

4月に3年生対象として「全国学力・学習状況調査」が実施されました。今年度は、「国語」「数学」「生徒質問紙」が行われました。その結果が公表されましたので、本校の様子を分析し、お知らせします。



本校は、全国平均正答率よりやや低い結果となっています。

【良かった点】

「知識及び技能」では、言葉の特徴や使い方に関する問題と情報の扱い方に関する問題と我が 国の言語文化に関する問題において、全国平均を上回っていました。いずれも選択式の問題で あったことから、問題文を根拠にして正解を選択する力が身に付いてきていると考えられま す。

【課題と改善策】

「思考力・判断力・表現力」では、特に「話すこと・聞くこと」の分野に課題が見られました。資料を用いて、自分の考えを分かりやすく伝わるように話すことを試す問題に課題が見られました。そこで、資料をもとに視点を明確にした活動を取り入れることで、考えを分かりやすく伝える力を伸ばしていきます。また、ICT を効果的に取り入れ、根拠となる資料を提示しながら自分の考えを他の生徒に伝える活動をしていきたいと思います。



本校は、全国平均正答率よりやや低い結果となっています。

【良かった点】

「知識及び技能」では、データの活用や図形に関する問題において、全国の平均よりも上回っていました。これは、身近な事柄についてデータを集約したり、自分の考えを図や表を用いて表現したりしたことが、生徒の知識や技能の習得につながったと考えます。

【課題と改善点】

「思考力・判断力・表現力」では、複数のデータの分布傾向を比較して数学的な表現を用いて 説明することを試す問題に課題が見られました。データは私たちの生活と密接な関係にあるた め、授業では、生徒の日常生活と関連を図りながら、活用できるようにしていくことが大切で あると思われます。また、言葉と数を使ってデータの特徴を説明する力を身に付けさせていき たいと思います。

生徒質問紙

【県内・全国を上回っている項目】

- ○自己肯定感・自己有用感
- ・「先生は、あなたのよいところを認めている」教職員が、子供の自信につながるように、 できたことをほめ、認め、また、やろうとしていることを認め、励ましている成果と考えま す。
- ・「将来の夢や目標を持っている」様々な教育機会(家庭での会話含む)を通して、自分の夢 や生き方について考える活動を設定している成果と考えます。

○困りごとや不安を相談できる

・「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」一人で抱え込まないで、家族、先生、スクールカウンセラー、周りの友だちなど、相談できる人に悩みや不安を話すよう促している成果と考えます。

○ICT機器の活用

・「楽しみながらタブレットなどのICT機器を活用する」「画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる」「自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる」これらは、授業中の必要な時に、辞書で言葉を調べられること、また、学習支援ソフトにより、画像や動画等を活用して、活発な対話を促したり、容易に情報共有を図ったりすることで、生徒が楽しみながら、ICT機器を活用している成果と考えます。

【県内・全国を下回っている項目】

○学習に関わること

・「課題の解決に向けた取り組み」「自分の考えをまとめる」「学習内容の分からない点を見直す」今後の対応として、学習課題を生徒の興味・関心から引き出すとともに、授業の振り返りで、学習内容の理解が不十分な点や、さらに学びを深めたいことを自分の考えでまとめさせていきます。さらに、家庭学習の充実により、確かな学力の定着を図れるようにしていきます。

○スマホ等に関わること

・「一日当たりのゲーム時間」「一日当たりの SNS 等に触れている時間」「家庭内での約束」今後の対応として、家庭での約束ごとが守られているか確認し、改めてタブレット等の使い方について、家庭と連携し、話し合う機会を設け、新たに約束ごとを作成したり、見直したりするようにしていきます。

○社会貢献に関わること

・「地域や社会をよくしたい」「人の役に立つ人間になりたい」今後の対応として、道徳や学級活動等の授業実践により、学級や学校の一員としての自覚をもたせたり、係や当番活動、学校行事などで目標や役割をもたせたりすることや、子供同士の関わりを増やし、子供が活躍できる体験の場を数多く設定し、これらの活動を通して、誰かの役に立っている、貢献している、人に喜んでもらえるなど、自分が有用であると思える感情を養えるようにしていきます。また、公民館が募集するボランティア活動にも積極的に参加を促していきます。